

戦後補償問題

やり直さない

官房長官、改めて強調

武村官房長官は二十三日夕の記者会見で、細川首相が所信表

味しないとの見解を改めて強調した。

同時に戦後処理問題が未解決の朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）などの関係や国交正常化の過程で議論されなかった従軍慰安婦問題などについては、それなりの対応を検討する考えを示した。

明後説で指摘した第二次世界大戦への反省とおむねに関連して「サンフランシスコ講和条約や二国間条約で賠償や財産請求権は決着がついている。それが原則だと思っている」と述べ、首相発言が補償問題のやり直しを意